

令和2年度事業報告

本協議会は、関西エアポート株式会社による自律的な運営を尊重しつつ、新型コロナウイルス感染症が拡大する現下の状況を踏まえ、空港運営事業者や航空会社等との連携のもと、関空の航空路線と旅客需要の回復に向けた取組を行った。

I 各種会議等の開催及び要望活動の実施

決算額 1,082千円

国等関係機関との協議・調整を行うとともに、構成団体間で、本協議会の運営などに関する合意形成を行った。

また、関西エアポート株式会社と連携し、国等関係機関に対して、水際対策の充実・強化や空港機能の維持等に向け、緊急要望活動を行った。

(1) 総会の開催

- ・開催日：令和2年7月27日
- ・議事：①規約改正の件
②令和元年度事業報告及び収支決算報告の件
③令和2年度事業計画及び収支予算の件
- ・要望活動報告

(2) 理事会の開催

- ・開催日：令和2年7月9日
- ・議事：関西国際空港に関する緊急要望書（案）
関西国際空港全体構想促進協議会総会の付議議案

(3) 理事・特別参与・参与団体担当課長会議（事務局会議）の開催

- ・開催日：令和2年7月8日
- ・議事：①令和2年度促進協総会議案について
②令和2年度促進協緊急要望について
③その他

- ・開催日：令和3年2月9日
- ・議事：①令和2年度事業の取組状況及び決算見込について
②令和3年度以降の取組の方向性について
③その他

(4) 緊急要望活動の実施

- ・令和2年7月14日に、国土交通省を訪問し、空港を支える重要機能の維持や水際対策の充実・強化、航空路線の段階的な回復のほか、中長期の需要を見据えた旅客ターミナルの再生・整備等の空港機能強化について、特段の配慮を要望した。

Ⅱ 広報活動の実施

決算額 198千円

(1) ホームページ及びメールマガジンによる情報発信

本協議会の活動状況のほか、関空や航空会社に関する情報、各自治体の観光情報などを協議会ホームページに掲載するとともに、メールマガジンを毎月1回配信した。

(2) 令和2年度本協議会取組資料の作成

コロナ禍における本協議会の取組をまとめた「新型コロナからの関西国際空港の復活に向けて」を作成し、会議において活用した。

Ⅲ 管理運営

決算額 551千円

本協議会の運営を行い、必要な事務局経費の支出及び経理処理を行った。

IV 関西国際空港ゲートウェイ機能強化促進事業

「航空ネットワークの回復」と「安全安心な空港環境の整備」に重点化した取組を行った。

(1) 航空ネットワークの回復

決算額 2,730千円

航空会社と連携のもと、航空路線の需要維持を図るため、国内線利用と低価格な抗原検査等がセットになった旅行商品を提供し、旅行者が安心して利用できる取組を試行的に行った。

また、航空需要の回復期において関西の観光需要を喚起するため、機内イベント等を通じて、関西の観光魅力を発信する国際遊覧飛行を、韓国で実施した。

航空会社	実施時期	実施内容
ピーチ・アビエーション	令和2年11月 ～令和3年3月	抗原検査後国内線利用実証事業 (路線：宮崎、奄美、長崎)
	令和3年2月 ～令和3年3月	郵送PCR検査後国内線利用実証事業 (路線：関空発全路線)
ジンエアー	令和3年2月	仁川空港発着の国際遊覧飛行 (機内イベントや韓国の人気インフルエンサーにより関西の魅力等をPR)

(2) 安全・安心な空港環境の整備

決算額 5,000千円

関空内の旅客及び貨物サービスを含む空港内の機能維持を図るため、関西エアポート株式会社と連携し、空港内事業者への消毒液配付や、空港駅バス乗り場及び国際貨物地区へのサーモグラフィー設置など、関空で従事する従業員向けの感染予防対策を充実させる取組を行った。

(3) 関西国際空港内の事業者に対するサポート

航空路線の減少により厳しい経営環境にある関空内の事業者をサポートするため、関西エアポート株式会社や金融、労働に関する公的機関と連携し、各種支援制度に関するWEB説明会を開催した。